

新製品開発における企画立案を支援するツールの開発

Development of Tools for Planning in New Product Development

製品技術部 日高 青志・印南 小冬・万城目 聡

■研究の背景

受注型のものづくり中小企業が自社独自製品の開発にチャレンジする場合、企画が良くないために売れるモノにならなかったり、開発プロジェクトが頓挫してしまったりするケースが多くあります。本研究では、こうした企業の企画立案力を強化するため、企画づくりの手順や具体的な打ち手など重要な知識を学べ、実際の企画会議などでの企画アイデアの創造・ブラッシュアップに活用できるWEBコンテンツを開発しました。

■研究の要点

1. 企業との新製品開発ケーススタディを通じて、企画づくりの手順や必要な知識などの仮説を創出しました。
2. 商品企画実践講座の実施を通じて、上記の仮説を検証・ブラッシュアップしました。
3. 新製品開発のための必要な知識を提供するとともに、企画づくりの実践を支援するWEBコンテンツを開発しました。



図 WEBコンテンツ「モノづくりチャレンジャーの企画づくりツールボックス」

■研究の成果

1. 商品企画実践講座における検証を通じて、企画づくりの5つのステップと、各ステップで実施すべき38個の打ち手アイデア、企画づくりに着手する前に知っておきたい10個の知識をまとめました。
2. 上記のステップ・打ち手・知識を学べ、企画会議での企画アイデアの創造・ブラッシュアップや打ち手の検討などに活用できるWEBコンテンツ「モノづくりチャレンジャーの企画づくりツールボックス」を開発しました。